水性カチオンエポキシ複合形下塗材

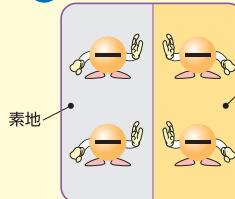
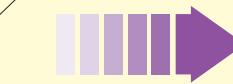
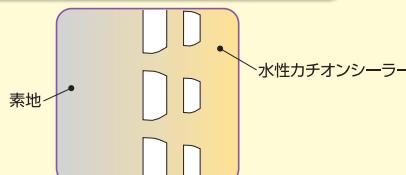
次世代の水性タイプシーラーのエース!従来タイプの下塗材と比べ、優れた性能を実現!

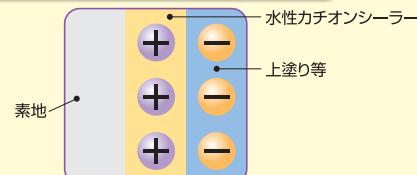
JIS K 5663
合成樹脂エマルションシーラー

JIS A 6909
建築用仕上塗材 外装厚塗材E 外装薄塗材E
防水形外装薄塗材E、複層塗材E/RE
防水形複層塗材 E/RE 下塗材

1. すぐれた電荷安定性

A 一般水性アニオン形下塗材　　**B 水性カチオンシーラー**

素地　一般水性アニオン形下塗材　素地　水性カチオンシーラー

水性カチオンシーラーは
一般水性下塗材に比べ
電荷安定性が高く、素地との密着を高めます。

素地に浸透して、
表面強度を高めます。

3. 高付着性

カチオンエポキシ複合形であるため
上塗りとの密着にもすぐれています。

※上図はイメージです。

適用用途	戸建住宅、マンション、ビル、学校、病院などの外部および内部壁面への新築・塗替塗装の下塗りとして。
適用下地	新築：モルタル、コンクリート、PC板、スレート板、押出成形セメント板、木部、けい酸カルシウム板などの各種素材に。
	塗替：吹付けタイル、スタッコ、セメントリシン、アクリルシン、アクリルエナメル、弾性系仕上げ材、塩化ビニールエナメル、ウレタンエナメル、エマルション塗装などの各種既存塗膜に。
適用上塗り	水性上塗り塗料:エコフラットシリーズやオーデコートGエコ等内装用水性上塗り塗料全般 オーデフレッシュシリーズや水性シリコンセラUV等外装用水性上塗り塗料全般 弱溶剤上塗り塗料:ファイン4Fセラミック・ファインシリコンフレッシュ・ファインSi・ファインウレタンU100・ケンエースGII

＊上記以外の上塗りの適用については、最寄の営業所までお問合せください。

塗装仕様例　新設／塗り替え

■コンクリート面　弾性なみがた仕上げ（JIS A 6909 防水形複層塗材E）

工程		塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整		ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り		水性カチオンシーラー透明 または 水性カチオンシーラーホワイト	1	0.10〜0.16	4時間以上	無希釈	−	はけ、ウールローラー
						水道水	0〜10	
主材	ベース塗り	DANタイル中塗	1	0.80〜1.20	4時間以上	水道水	5〜8	砂骨ローラー
	模様塗り		1	0.80〜1.20	16時間以上	水道水	5〜8	砂骨ローラー
上塗り		DANタイル水性上塗	2	0.17〜0.20	4時間以上	水道水	5〜10	ウールローラー
		または オーデフレッシュ Si100III(注)		0.14〜0.17	3時間以上	水道水	5〜10	ウールローラー

(注)「つや有り・7分つや有り・5分つや有り・3分つや有り」よりお選びください。(つや消しの適用は不可)

■コンクリート面　高弾性凹凸仕上げ（JIS A 6021 建築用塗膜防水材）

工程		塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整		ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り		水性カチオンシーラー透明 または 水性カチオンシーラーホワイト	1	0.10〜0.16	4時間以上	無希釈	−	はけ、ウールローラー
						水道水	0〜10	
主材	ベース吹き	DANエクセル中塗J	1	1.70〜2.10	4時間以上	水道水	4〜7	タイルガン
	模様吹き		1	0.60〜1.00	16時間以上	水道水	0〜2	タイルガン
上塗り		DANエクセル水性ウレタン上塗 または DANエクセル水性シリコン上塗	2	0.14〜0.17	3時間以上	水道水	5〜10	ウールローラー／エアレススプレー

■内部けい酸カルシウム板面

工程	塗料名	塗り回数	使用量 (kg/㎡/回)	塗り重ね 乾燥時間(23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
素地調整	ごみ、未硬化セメント粉末、砂じん、油脂分などの付着物をワイヤブラシ、皮すき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。						
下塗り	水性カチオンシーラー透明 または 水性カチオンシーラーホワイト	1	0.10〜0.16	4時間以上	無希釈	−	はけ、ウールローラー
					水道水	0〜10	
上塗り	ニッペ水性ケンエース	2	0.12〜0.14	2時間以上	水道水	2〜8	はけ、ウールローラー
	または エコフラット60・70・100	2	0.12〜0.14	2時間以上	水道水	5〜10	はけ、ウールローラー
	または オーデコートGエコ	2	0.13〜0.15	4時間以上	水道水	0〜10	はけ、ウールローラー

※上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。（縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります）　※旧塗膜は、健全な状態であることを想定しています。
※塗替で下地改修工事が必要な場合は、下地調査結果に基づいて、塗装工事前に実施してください。　※カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に必ず当社営業までご相談いただきますようお願いします。

●使用方法

【混　合】使用前に十分にかくはんしてください。

	水性カチオンシーラー透明	水性カチオンシーラーホワイト
使用量	0.10～0.16kg/㎡/回(はけ、ウールローラー塗り)	
希釈剤(希釈率)	無希釈	水道水(0～10%)

●けい酸カルシウム板は、製造メーカー、比重により使用量が異なりますのでご注意ください。
●使用量は標準的数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により幅を生じ増減します。

●乾燥時間 ※この数値は塗付量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

	5℃	23℃	30℃
塗り重ね乾燥	6時間以上	4時間以上	2時間以上

●容量・色相

塗料名	容量	色相
ニッペ水性カチオンシーラー透明	15kg	乳白色
ニッペ水性カチオンシーラー ホワイト		白色

●性　能

試験項目		規格	性能
容器の中での状態		かき混ぜたとき、堅い塊がなくて一様になるものとする。	合格
低温安定性		−5℃に冷やしたとき変質してはならない。	合格
低温造膜性(5℃)		5℃で塗膜形成に異常があってはならない。	合格
塗装作業性		はけ塗りに支障があってはならない。	合格
乾燥時間(表面乾燥性)		2時間以内	合格
塗膜の外観		塗膜の外観が正常であるものとする。	合格
上塗り適合性		上塗りに支障があってはならない。	合格
耐水性		水に96時間浸漬したとき異常があってはならない。	合格
耐アルカリ性		水酸化カルシウムの飽和溶液に、48時間浸漬で異常ないこと。	合格
初期乾燥によるひび割れ抵抗性※		ひび割れがないこと。	合格
付着強さ※ N/㎟	標準状態	1.0以上	合格
	浸水後	0.7以上	合格
温冷繰り返し※		試験体の表面に、ひび割れ、はがれ及び膨れがなく、かつ、著しい変色及び光沢低下がないこと。	合格
耐衝撃性※		ひび割れ、はがれ及び著しい変形がないこと。	合格
透水性B法※		0.5以下	合格

※JIS A 6909　建築用仕上塗材 防水形複層塗材REの下塗り材として使用の場合。

注意事項　(詳細な内容については、各商品の製品使用説明書などにてご確認ください)

1. カチオン性のため、他の水性塗料と混合するとゲル化することがありますので、混合したり、はけ、ローラー、エアレス装置などの共用は避けてください。
2. 本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮み、割れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間を守ってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにとってください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生する恐れがありますので避けてください。
3. 劣化の著しい外部木部については、表層剥離の恐れがありますので、施工は避けてください。
4. 絶えず結露が発生するような用途、場所での使用は避けてください。著しい結露が発生する場所では、塗料中の水溶成分が表面に溶出し、黄色い粘着物などとなって析出する恐れがあります。著しい結露が予測される場合は、塗装を避けるか、溶剤系塗料での塗装をおすすめ致します。
5. 塗装後、乾燥不十分な状態で降雨結露などがある場合や、低温、高湿度、通風のない場合には、膨れ、はく離、割れ、白化、シミが発生するおそれがありますので、塗装を避けてください。やむを得ず塗装する場合は、強制換気などで湿気分を飛ばすようにしてください。シミが発生した場合は乾燥後水拭きして除去してください。
6. 動物はけは、はけが固まったりダマになりやすいので、できるだけナイロンはけをご使用ください。
7. 容器に小分けする場合はポリ容器をお使いください。(鉄製、ブリキ製は腐食します)
8. 外部に使用されているけい酸カルシウム板には「ニッペー液浸透シーラー」をご使用ください。
9. 新設において素材のアルカリが強い場合は溶剤系シーラーをご使用ください。
10. けい酸カルシウム板の種類・劣化度合いによっては粘着力の強いテープで多少はく離する場合があるのでご注意ください。
11. 施工時は、飛散防止のため養生を行ってください。
12. シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
13. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこす恐れがあります。
14. 既存塗膜のはく離個所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行なってください。
15. 風化面・吸込みの著しい下地では、ニッペ浸透性シーラー(新)、ニッペー液浸透シーラー、ニッペファイン浸透シーラーをご使用ください。
16. シーリングの上に、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
17. 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄の営業所などにご相談ください。
18. やにが著しく付着している場合は、ウエスなどでやにを水拭きして除去し被塗装面を十分に乾燥させてから塗装してください。希釈を少なくし、1回目の塗装を十分乾燥(目安23℃、6時間)させてから2回目の塗装をすることでやに止め性が向上します。シミ、あく面は止まりにくい場合がありますので、ウエスなどで水拭きを行い、被塗装面を十分乾燥させてから塗装してください。
19. 下地にタバコのやに汚れが著しい場合は、下塗り材として水性シミ止めシーラーⅡを塗装してください。
20. 素地表面のアルカリ度はpH10以下、表面含水率は10%以下(ケット科学社製 CH-2型で測定した場合)、または5%以下(ケット科学社製 Hi500シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
21. 表面のごみ、ほこり、エフロレッセンス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑にしてください。
22. ALC面、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッペセメントフィラー、ニツペフィラー 200)などで処理してください。(合成樹脂エマルションパテの使用は避けてください。)
23. 素材にセメント成分などが使われている場合は、エフロレッセンスが発生するおそれがありますので溶剤系シーラーをご使用ください。
24. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
25. 屋外の塗装で降雨、降雪の恐れがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
26. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
27. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
28. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがありますので行わないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッペブリードオフプライマーを下塗りすることで、汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
29. 笠木、天端など長時間水が滞留する個所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
30. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
31. 汚れ、傷などにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
32. 布クロス、紙クロスや汚染防止のクロス(シリコン加工され水をかけると著しくはじくクロス)には塗装できません。
33. ローラー、ハケなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生する恐れがありますので、避けてください。
34. 上塗りに溶剤系塗料のご使用は避けてください。
35. 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
36. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
37. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

安全衛生上の注意事項　(水性カチオンシーラー 透明/水性カチオンシーラー ホワイト)

横倒禁止

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書を入手してください。
3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
4. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
5. 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
6. 口をすすいでください。
7. 容器からこぼれた時には、砂などを散布した後処理してください。
8. 吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡してください。
9. 吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
10. ばく露またはばく露の懸念がある場合:医師の診断/手当てを受けてください。
11. 施錠して保管してください。
12. 直射日光や水濡れは厳禁です。
13. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
14. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
15. 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げるときには、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取ってが外れ、落下事故の危険があります。)
16. 内容物/容器を国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
17. 容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
□詳細な内容、表示例以外の製品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
□本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険	危険有害性情報
	遺伝性疾患のおそれ/発がんのおそれの疑い 生殖能または胎児への悪影響のおそれ

日本ペイント株式会社

お客さまセンター
☎ 03-3740-1120
☎ 06-6455-9113
http://www.nipponpaint.co.jp/

●このカタログは再生紙を使用しています。

カタログNo.
NP-S188
NB150310T
2015年3月現在